

## 家族制度の實を擧よ (上)

物は

家族制度の實を擧よ  
(上)

日本人は物事に几帳面で、筋途が立ぬと承知しない特性を有つてゐるがと思ふこと、又或る事には大變尠拔がして向取止がないのである。例へば家族制度に就て見るも、日本は世界の模範である。家庭制度なら養子との二種になるのであるが、法廷でも教ふる資格があると力んでゐるが、何ぞ知らん其の内幕に這入つて見るも、一向に家族團欒の美を成してゐないのである。

尤も家名と云ふ形式には相當書きを置いて、婚姻、養子縁組等には、家風を標準として可なり六箇敷い詮議立もある様であるが、其の内容に至つては甚だ貧弱で、啻に長幼禮を缺いてゐるのみならず、家族互に相撲ぎ、尙ほ甚だしきは家長が絶対の世にあるまじき不都合の所爲を爲す者も少くない。現に伯國に移住せる我が民族の久しい間保持し來つた麗はしい家の制度も、愈々茲に破つるならば、家族制度に最も大切な血統と戸籍とを段々重んじない様な傾向が我が同胞中に瀰漫して來るのである。先づ手近な例を擧るならば、伯國に在留する我が同胞中には、家族制度を中心として作られた我が國の民法と戸籍法とを全然無視して、勝手な行為を演ずる者の少ない事であるが、其の中にも最も甚だしいのは、親が養女に子を産ま

しめて、而も之を公然と届出た事で、併し之と云ふも畢竟我が國家が族制度の神體が、合理的に頭腦に這入つてゐない處から起る問題だと思はばこちらが先生で、世界何れの國に律上では養子を嫡出子として取扱ふとしても教ふる資格があると力んでゐるが、何ぞ知らん其の内幕に這入つて見るも、一向に家族團欒の美を成してゐないのである。

うと思ふ。  
生子に就て民法上の講釋をして見やうと思ふ。

子供を區別して見ると、實子と、庶子と、私生子となるものである。而して庶子は多くの場合、私生子を父が認知した爲めに出来るもので、事實を土臺として云へば小供は嫡出子と私生子との二種になるものである。然らば右の二者は法律上どう云ふ差違があるかと云ふに、嫡出子とは父母が正式に婚姻を爲し、戸籍吏に届出した後に、相當の期間を経て出生した小供を云ふので、嫡出子には父母の正當婚姻と戸籍吏に届出との二要件が、どうしても無くてはならぬものである。但し此の點に法律が多少の紛糾をつけて、父母が婚姻の届出前に懷胎した子でも、又届出前に婚姻さへすれば、嫡出子たるの身分を得らることになつてゐる。ろし此の規定は子供が死んだ場合にも準用されるので、法律の精神は私生子、若くは庶子と云ふ不名譽の身分を、戸籍の上に存するの不可なるを成すれば、其の不名譽の身分を、戸籍の上に存するの不可なるを成すのである。

然らば私生子とはどんなものであるか、之は説明するまでもなく父母の知れない子供を指したもので、是程子として不名譽なものははないのである、併し父母が知れないと言つても、實際は父が知れないまでも、

仙都西雨晚報

**NOTÍCIAS DO BRASIL**

Publicado semanalmente  
Rua Conselheiro Furtado  
No. 89  
Caixa Postal H  
S. Paulo, Brazil  
Proprietario e editor  
Seisaku Kuroishi  
  
Assignaturas  
por Anno \_\_\_\_\_ 10\$000  
,, Semestre \_\_\_\_\_ 5\$500  
,, Mez \_\_\_\_\_ 1\$000  
,, Semana \_\_\_\_\_ \$800

業者諸君の参考にもなることと思ふ。中央線のそれとは全然別の趣を異にし、が、近く梅辨殖民地方面に旅せんとする、して今はその時をもたぬ、直ちに結論に入らる。

『將來日本人は非常な勢を以て此河岸に入り込んで来るに相違ない、大るは當然である、當然ではあるが専ら河沿岸は將來日本人の一大米作地と共通した源流がある、聖州の経験以降は福川君の意見である、大てミナス米作の改良に資すべく、

ノロエステ線、西北線の米作がモロコシ河岸のそれと同一ではない、地勢、地味、氣候、雨量、其他を異にしてゐる、ミナスの米作が聖州米作と異なるが、

れといふ者に至つては殆んど曉る  
星である、單に他地方農作の進歩  
好況を説いて暗にその人の奮發  
望してさきの氣持がよくない、田舎  
は語るを欲して聞くを欲しない同郷  
多い、自信ある、甚だよし、さむ

大の歩、ない、戸借の昇騰と共に彼等の頭脳も熱し來たつて思慮が冷静でない、先驅けの功名、無意味な競争の好き日本人が半狂亂になつた、我先きと金儲けを急ぐミナスの米作地に幾多の競争、暗闘あるは致方ないさして利益を收むるは地主のみで馬鹿を

卷之三

母の知れないと云ふ場合は、捨子のなる」とは禪川君の意見である。大外はないのであるが、法律は先づ斯體に於て僕もかく思ふ。  
く定めているのである、されど父母たるもののが婚姻の届出をしなかつたばかりで、其の子に私生子の不名譽を負はせ、一生を目障者同様にしてしまふと云ふことは、元々法律の精神でもなく、又其の子供に對しても餘りに酷過に過ぎるから、法律に於ては之を救ふ意味に於て認知と云ふことを定めて、父母自ら進んで認知した場合には、私生子も庶子となり、更に私生子でも庶子でも其の父の母が正式に婚姻させれば嫡出子となる様にしてあるのである。而して此の認知の権利は父母にのみ属してゐる權利であるが、子供の方から當の婚姻に重きを置き、又婚姻した私共は日本に在ると外國にあることを問はず、常に家業制度を中心として家督相續を定め正當の婚姻に重きを置いて家庭制度の理想化を望んでゐるのであるから、蓋し我が國の法律殊に民法は、家庭制度を中心として家督相續を定め正當の婚姻に重きを置き、又婚姻したならば直ちに戸籍吏に(海外に在る者は其の地駐在の帝國領事に)届出を怠つてはならぬと共に、小供が出生したならば嫡出子として右婚姻届出の場合の如く立派に届出出来る様にしなければならぬのである。(續)  
大河沿岸に於て本年度日本人の生産米額二萬七千袋に達し、明年度は優に三萬數千に達すべし、同河沿岸を流れ流れて約廿日間、僕は同地米作の將來を多事多端と視た、目下日本人の米作はある各處に就きて詳細に記述することは多少他地方同様に於て僕は海外に在るが、米作に就て無經驗な僕が經驗者に説明するは稍々變なれど、諸君の大半數が幾多改良すべき缺點をも只だ「ミナスではこうです」といふを口に樂觀し過ぎてゐる、頭の鈍かせ方が足らぬといはば或者は立派するかも知れぬが、僕は此言葉をはなむけれども、米作を謳歌し辯護せんとする傾向あるは、進取の氣象に富む諸君にも似合はぬことである、同じく聖州の米作といふも、イクアッペの米作と中

に於てをや、聖州米作の現況はミナスの如きに比し進歩的、合理的である。地味の肥沃なる點に於て、收穫量の豊かにして且つ品質の優秀なる點に於て、ミナスは確かに聖州の上位にある。併しながら耕作歩割の低廉にして實收入の多い點、交通運搬の良好なること、満足の利、地主は一般に良好にして富有的者多ければ、殆んど無資本者にても容易に米作に從事し得る等の點に於てミナスは聖州に一步を譲らねばならぬ、要は多く儲かるに在る、安全に自己をふさらし、他日の發展を策するを最もよいと思考する者あらば大なる誤である、若しアンナデアス方面の米作を中心々に悪くない、若し諸君にしてミナス米作の現況を以て伯國一、世界一と想する者は契約條件、播種、除草、收穫、僕は契約條件、播種、除草、收穫、販賣方法うの他に關し尙研究改良の餘地甚だ多かるべきを想ひ、又大河沿岸將來に於ける邦人勢力の消長が一に諸君現在の覺悟如何に係り、全部諸君の責任たるべきを想ふて特に此醜評を爲すもの即ち諸君同胞の發展を歎美するのみ外他意がない、僕は遠慮ない、ふが、諸君が公平の平均純益は、他地方同胞の如に比較的貧弱であつた、依て此言を呈して奮起を乞ふ所以である。

田舎を旅して聞かることは爲替相場と物價、聖市の景氣、出生死亡の手續等で、各地方に於ける農業經營等に關し聞く者は甚だ少ない、遠慮なく私の事業を批評して莫

左の請點御手帳に被下度御願申込と記入する事。耕地名、停車場及び轉耕道線等の上位名を附する事。姓名は必ず日本文字にて記入する事。既に送金ありたるも未だ領收書を入手なき方は金額、月日、取組種類へ爲替又は現金送金等明細に通知の事。購読中止の場合は前金切れでござるは必ず其旨通知の事。取組種類へ爲替又は現金送金等明細に通知の事。

（注）姓名、耕地名、驛名及び轉耕道線異にしての同名停車場も右記の如きに於ける事。是れは農家昨今的精神状態を半ば失心病に罹りてゐるが故に、新移民、珈琲園に在る者等の多くは當分預りとして、殖民地へは半ば独立の事業者等明瞭に御記入被下度與れること。御願申上候也。

## 大河沿岸日本人 米作の将来

4

りなどとてわんがん渡邊考に説明するに和人意をめぐる讀者の大河沿岸に於て本年度日本人の生産米額約二萬七千袋に達し、明年度は優に三萬數千に達すべし、同河沿岸を流れ流れて約廿日間、僕は同地米作に、遐迄もミナスの米作、實に、歌舞で歌謡せんとする傾向ある方米作の將來を多事多端と視た、目は、進取の氣象に富む諸君にも似下日本人の米作はある各處に就きて合はぬことである、同じく聖州の米作といふも、イクアツペの米作と中詳細に記述することは多少他地方同

純利益は何んど他地方同胞のうれに比して  
比較的の貧弱であつた、依て此言を呈  
して奮起を乞ふ所以である。

田舎を旅して聞かることは爲替  
相場と物價、聖市のはうき、出生死亡、傳  
届の手續等で、各地方に於ける農況  
農業經營等に關し聞く者は甚だ少な  
い、遠慮なく私の事業を批評して呉  
班愛

伯刺西爾時報社  
受負、借地の他半獨立の事業  
候は農家昨今の精神狀態を半ばは當分預りとして、殖民地にいたい新移民、珈琲園にむかひたいといふのである。

ス日本米作の將來は甚だ光輝あるものとなる、若しこれに反し、只現時の如く、自惚れ、暗闇を能事となし行くに於ては諸君は此後數年を出でずして自滅の運命に陥るであらふ。僕は同地方先覺者の指導と、米作者諸君の努力反省に依つて、余が前言の一も適中せざらんことを切望する。

◎ 历史与社会

◎ 月 異 資 精

◎農界資料

# 煙草栽培

## 十一 採葉

採葉は降雨後二日乃至三日を経たる好天氣の日に朝露が乾きたるとき下部の葉より摘み漸次上部に摘み上げるのである。葉を摘むには一方より他の方に曲げて引くときは直ちに折れる、摘取りたる葉は幅広く形となるものと、幅狭くして形少なるものとを區別して畦間の地上に置くものなるが地上に積むときは葉軸を下に葉脈を上に向けて水分を適度に失はしめて葉を少しく柔軟ならしめうして運搬に便に且つ葉を傷付けざる様になすのである。若し採葉中降雨に會ふときは採葉したるものを使かず、に屋内に運びて採葉を中止せねばならない。又光熱餘り烈しき日に採葉をなすときは摘取りたる葉は分泌する水分多量の爲めに汚點を生じ、葉の尖端は焼けてチリ<sup>チリ</sup>となるを以て断じて選くべきである。採葉は八日目八日目に行ひ成熟したる葉を順次摘み取り、もし最初に上部の葉が成熟したるときは其の葉軸と共に切り取る様にするのが大切である。第二の葉軸をナイフにて切り取りたる後殘餘の葉は既に述べたる方法を以て摘み取るものである。而して最も下部に三葉乃至四葉を残し置き樹液をして活動せしめて新芽を生せしめ、更らに第二回の採葉をなし得る事を計るべきであるが、こは前號に於て詳述したる芽留め及び芽搔きを完全になし得たる場合の外は優良なる二番葉を得難いのである。

**十二 葉の取扱及運搬**  
葉軸と共に切り取られたる葉は貯蔵すべき場所遠からざることは二本の棒に掛け互ひ二人にて運ぶが尤も大きい規模の煙草園に於ては馬車に積むこと差闊なきも其の時は先づ馬車に青々として新らしく柔かき木の葉を運きて運搬する必要がある、一葉宛採葉は降雨後二日乃至三日を経たる好天氣の日に朝露が乾きたるとき下部の葉より摘み漸次上部に摘み上げるのである。葉を摘むには一方より他の方に曲げて引くときは直ちに折れる、摘取りたる葉は幅広く形となるものと、幅狭くして形少なるものとを區別して畦間の地上に置くものなるが地上に積むときは葉軸を下に葉脈を上に向けて水分を適度に失はしめて葉を少しく柔軟ならしめうして運搬に便に且つ葉を傷付けざる様になすのである。若し採葉中降雨に會ふときは採葉したるものを使かず、に屋内に運びて採葉を中止せねばならない。又光熱餘り烈しき日に採葉をなすときは摘取りたる葉は分泌する水分多量の爲めに汚點を生じ、葉の尖端は焼けてチリ<sup>チリ</sup>となるを以て断じて選くべきである。採葉は八日目八日目に行ひ成熟したる葉を順次摘み取り、もし最初に上部の葉が成熟したるときは其の葉軸と共に切り取る様にするのが大切である。第二の葉軸をナイフにて切り取りたる後殘餘の葉は既に述べたる方法を以て摘み取るものである。而して最も下部に三葉乃至四葉を残し置き樹液をして活動せしめて新芽を生せしめ、更らに第二回の採葉をなし得る事を計るべきであるが、こは前號に於て詳述したる芽留め及び芽搔きを完全になし得たる場合の外は優良なる二番葉を得難いのである。

**十三 煙草の病害**  
煙草には『ヘロノスボーラ』と稱する病がある、この病に罹れば葉は忽ちに落する、如斯徵候を發見したる場合は速かに其の煙草を引き抜きて焼き、ろして病根を絶ち、ろの传播を防がざれば他に傳染して容易ならざる損失を招くことになる。

煙草及び根の腐爛は燭<sup>シヤク</sup>鱗翅類の触食に依るものなれば害虫を發見する。又濕氣餘り多き處の煙草は凋萎するを以て小溝を設け排水をよくし根元に土を盛り而して少量の石灰を土に混せたるを其の上に撒布するのである、然し此の外病害は種々あれどもその防退方法なきを以て煙草栽培者は不自然の徵候を生じたものを直ちに抜き取り焼き去るの外はない。

**十四 產額**  
八十センチームの間隔を以てせば一エクタールに付一萬五千六百二十五本を移植し得る。施肥は石灰一本五キロ七、窒素肥料七〇三キロ炭酸カリ二五キロ四、マグナシャー二キロ二、磷酸六キロ三である。アルケールの土地よりの產額は最少に見積り八十アローバより百アローバにして之れを一千本に對せば九アローバより十アローバである、即ち八十七センチームの間隔を保ちてアルケールに移植せば三萬九千九百六十二本、其の產額三百九十九

葉煙草一アローバ(十五キロ)に付六  
十ミルレースとなすときは一アルケ  
ールに付實に二十三コントス四百ミル  
レースとなる、これより生産費最  
大見積額三コントス四百ミルレース  
を差引けば純益二十コントス、テ、レ  
ースを得るのである。(完)

今般左記ノ處へ移轉仕候ニ付此段廣告候也

伯刺西爾移民組合伯國支部

Rua Vergueiro, 15 S. PAULO

III (Central)

郵函番號ハ從前ノ通リ

卷之三

日本近信

早大學長復活  
高田博士推さる

日本金兩替

貴族院二爵の選舉

豫定の候補者全部當選す

(以上再選六十六名)

伯爵議員(二十人)

豫定の候補者

全部左の如く各八十四票死の得票にて投選せり但し投票總數八十六票

大原重朝

清棲家教

柳澤保惠

川村鐵太郎

林傳太郎

堀田松平

大木遠吉

津輕英麿

廣澤金正郎

伊東直安

稻垣治伸

池田正敬

西大路吉光

大宮内正敬

本多忠敬

大宮正季

井上匡四郎

今城隆政

西大路吉光

堀川謙慶

本多實方

大宮正季

伊集院兼知

板倉勝憲

稻垣春雄

新田忠純

西紳六郎

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

岩倉道俱

若王子文健

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西紳六郎

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

岩倉道俱

若王子文健

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

新田忠純

西泰親

本多政以

藤堂高成

神田光宇

中川正己

辻利正

伊東義五郎

伊丹春雄

▲ 南行紀 坂元 慎

翌廿二日香椎氏はアンデスを越へたしに、余は南大西洋を航して東に西に、余は南大西洋を航して東にふべく、互に益を擧げ前途の祝福祈りて分袂す。

正午森、松田兩氏の案内にて日貿社宅に豊島夫人を訪ひ敬意を表し喧嘩の馳走に預りて後更に市内の午餐の馳走に預りて後更に市内の部分を一巡して此の地滞在三十日にして、其の間はしきれを惜みつゝ再び伯國の人となるべく英國船に乗込みり、るに際し厚意を忝ふせし諸氏に對する謝辭を呈し併せて健康を祈りて止ざるなり。

入平常極めて沈静なる此處山奥の森林も此の日ばかりは何となくにこなげかご打ち眺められ、實にや奇なるむな無言絶語の此處の谷、彼處の岡日ばかりは物言はんばかりの心地どころ嬉しけれ。見よや三々五々集ひ来る家連れ中には、日本着は立派に洋風の着に縫ひ直されて着たる質朴の年寄がある中に、是は又目も覺むるばかりのハイカラ、年頃にふさわし合ひごとにや、赤や青、綠や紫など思ひのサイヤに純白のブルーを着せる姉さんだちは殊にうつり、聞けば何れも天長節着用にて新調せしものとかにして折目正しに進取主義との此の兩思想はかうしにあたり一見人をして清新の想ひにはしむるの概ありし。

「かたかい」  
「あの立派な男の人が二人來まだだ  
うね」  
「うんにや、名刺だか何だか知んね  
いひましたから。奥様が言はしやつ  
たのはこゝだと思つて、いろんな物  
つたら旦那様が紡られる、貴ふ事は  
なんねわといつて、突返してやりま  
したよ。」

○  
●

職工及夫マラダ  
至急募集

○  
●

煉瓦製造に經驗ある人二名及びカ  
マラダ數名

一、職工、一千個に對し六ミルレ  
ースを拂ふ(フォゴンの仕事は  
別務です)

一、カマラダ、土運搬その他、姓  
務、日給三ミルレースを拂ふ  
一、採集ウマドウジアのバナ、切  
り出し百七レースを拂ふ(但しバ  
ナ、園中鐵道の設備あり、ヴァ  
ゴ子チにて一同四打の運搬は頗  
る容易にして一日四回運搬し得  
利益なる可し)

一、土地、望により豊饒なる土地  
をいくつでも與う(目下大々的  
カンナ園を造りゼンガ製造場の  
建築中なれば、これを植ゆるも  
のバガメントにテスコントラス  
一、家、貸與

一、入耕の際、サントス港よりア  
ントニーナ港迄三等船貨補助善  
耕後仕拂ふ

七月  
クワチング耕地支配人  
長谷川武

T. HASEGAWA  
Caixa Postal 38  
(Camara Municipal)  
E. de Paraná

サイダー製造所  
穀物仲買に關し  
特美利具比殖民地  
植者に對し便宜を  
ふ  
ノロエステ線  
アラサトバ町  
停車場前  
高橋商店出張所  
安瀬盛女  
な 女付られけ枚や旦那つに 以か 金きな く い な ん 喰う の 航入

●各國電報

●大根種三萬二千貫

尋人廣告

福岡縣浮羽郡水綱村字森部  
中山卯右工門妻  
ハリ(二十五才)

故本野子爵は國葬

船として就航したる博愛丸は十三  
日午後三時約六百の旅客を搭載し  
て徳山より下關に歸航したが同  
船の高級船員某氏は軍艦河内の暴  
風雨の上深い霧さへ掛つて居た事で  
旅客の上陸不可能なれば陸より約  
半哩の沖合に碇泊して居たが同五十  
分突然大音爆と共に本船は大なる  
衝動を感じたので自分は船室より直  
にブリッヂに飛出し當番の船手に何  
事か聞いて居る。

●大根種三萬二千貫

右は發狂の氣味合にて九月九日午前  
十時頃聖市サンタカーザを失踪し今  
に行衛不明に付若し同人の居所御心  
當りの方も有之候はば乍御手數左に

御一報被下度願上候

原田敬太

Caixa Postal 1082  
S. Paulo

ハリ(二十五才)

立たせる役名也とされて居る以上、

何もろんに女とのやうに恥かし

御世話下されし場合は賣買契約成立と同時に手數料を御拂ひ致し升

ホワイト式ミシン器は最新流行使用輕便刺繡には好く適用せらる

特に廉價の月賦拂の法便あり

御申越あらば直ちに定價表持參御相談に參ります若し購買希望者を

立たせる事無くお買入下さい

